

ほけんだより 9月

保護者の皆様へ

夏休みのPTA研修報告 特別号

令和6年9月12日
かもと稲田支援学校

【講話テーマ】子どもたちの大切な心と体のこと、大人も学ぼう・やってみよう～よりよい関係のために～
NPO 法人せいしとらんし熊本 中村和可子理事長

昨年度高等部生徒対象に講話をいただいた中村様をお招きし、今回は、大人向けの現代の性に関する（^{ほうかつてきせいきょういく}包括的性教育）お話をさせていただきました。

身体の違いや男女間での性に関する知識やスキルについてだけでなく、人間関係、ジェンダー、人権、幸福等を学ぶこと

性教育の土台

- ① 人権
わたしがわたらしく
幸せに生きる権利
- ② 健康（体も心も）
清潔に保つ
それぞれの健康が保たれること
- ③ 安全
リスク管理（予防すること）
クライシス管理（起こってしまったらどう動くか）
- ④ コミュニケーション
セルフコミュニケーション（自分を認める）
対人コミュニケーション



グループワークで話そう

大人が子どもの時学んだ性教育と今の子どもたちの性教育の違い、性器タッチ、そして手伝いが必要な時の声かけについて3つグループワークを行いました。グループワークを行うことで、日頃の性に関する悩みの意見交換ができ、保護者も教職員もお互いに貴重な意見を聞くことができ、これからの子どもたちとの関わり方の学びになりました。



最後に、「わたしのからだは、わたしのもの」
「あなたのからだは、あなたのもの」
からだやこころが大切にされている感覚を養うことが一番というお話が印象的でした。

【参加者の感想】

自分たちが受けてきた性教育と今の子ども達の学びの違いに驚きました。



とても温かい気持ちになりました。「しない」「だめ」では終わらせずに、どうしたらいいのかを子どもと一緒に考えていきたいと思った。人権が性教育に含まれることを実感した。



言葉のかけ方について勉強になりました。最後のビデオ、子ども達の生まれた日のことを思い出しました。

